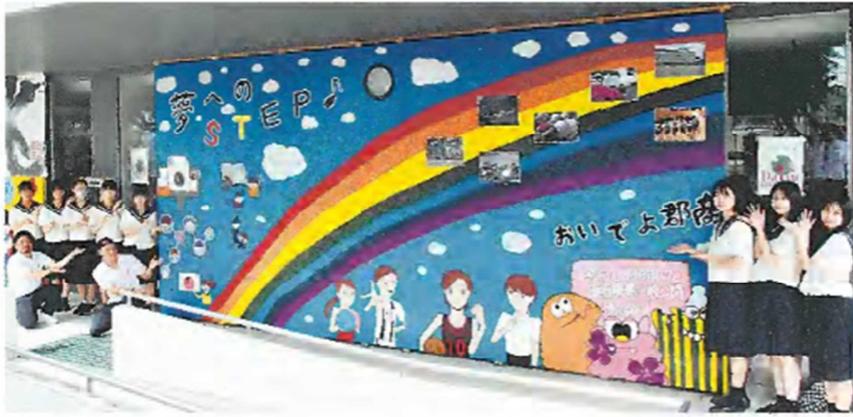


郡山商高生が壁アート

「明るい学校」表現

郡山商高の生徒有志は、ガラスが割られ使用できなくなっている学校の昇降口に「壁アート」を制作した。作品には、学校の魅力や高校生活の楽しさをいっぱい表現。「夢を目指す、明るく楽しい学校であることを知ってほしい」。完成した作品がお披露目され、生徒らは笑顔の花を咲かせた。



昇降口に完成したアート作品をお披露目する生徒ら＝郡山商高

ガラス破損の

昇降口に描く

何者かの投石で昇降口の窓ガラスが壊されたのは今年春。ガラスは特注のため、製造まで時間を要し、代わりの板がはめ込まれた。「昇降口を明るくしよう」。桑田粒哉教諭の発案を受け、2、3年生の有志約15人がアイデアを持ち寄ってデザインを決定し、今月8日から制作を始めた。

作品はともに縦3枚で、横6枚と2枚の2枚の板で構成。大きい板には「夢へのSTEP おいでよ郡山商高」のメッセージと共に、バスケットボールなどの部活動、流通経済、会計、情報処理の各科をイメージしたイラストを描いた。

「夢への架け橋」となる色とりどりの虹がかかり、そこに写真部が撮影した学校生活や校舎などの写真を貼り付けた。もう一つには、学校用務員が手がけたイラストのほか、書道部の1年生9人による「挑」の書を配置した。

制作には、桑田教諭と親交のある大樹ホーム（会津若松市）の渡部大介社長が協力。作品の材料となったベニヤ板を無償で提供し、設置作業に協力した。

中学生を対象に開かれる25日の体験入学会を前に、作品が完成した。リーダーを務めた鈴木結愛さん（3年）は「皆さんに高校生活の楽しさを知ってもらいたい」と話した。

作品は昇降口の修繕が終わった後も、校内に設置される予定。

▲ 7月23日 福島民友新聞掲載

5W1H を読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのような作品を
どうやって
(How)

なぜ
どうして
(Why)

壁アートが完成した今、制作に取り組んだ有志の高校生たちはどのような気持ちだと思いますか？

